



高志の国
文学館
KOSHINOKUNI
Museum of Literature

マクロス アクエリオン アルジュナ イーハトープ幻想～KENJIの春

高志の国文学館企画展

アニメ監督×万博プロデューサー

河森正治 展

富山が生んだ世界的クリエイターの軌跡

2025
6.21(土)
-9.1(月)

開館時間 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)※6月21日(土)は10:00開場
休館日 毎週火曜日
観覧料 一般500円(400円)／大学生250円(200円)／前売り・一般400円

[お求めは高志の国文学館、アーツナビで。文学館受付にてチケットに引き換えます。]

※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

©1982, 1984 BIGWEST

©2011 BIGWEST/MACROSS F PROJECT

©2004 河森正治・サテライト/Project AQUARION

©1996テレビ岩手・グループタック

©2001 アルジュナ製作委員会

富山が生んだ世界的クリエイターの軌跡

富山から万博へ、万博が世界へ

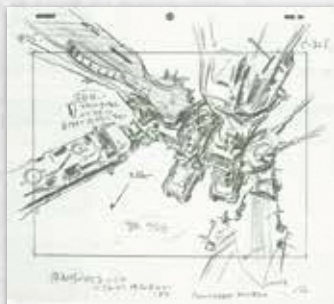
ビジョンクリエイター 河森正治の原作監督作品を中心に、創体の秘密に迫る

アニメーションの監督や演出、脚本、メカデザインと多岐にわたって活躍するビジョンクリエイター・河森正治(1965～)。
大阪・関西万博では、テーマ事業プロデューサーを務めています。

本展では、代表作となる「マクロス」シリーズや「アクエリオン」シリーズのほか、河森正治が原作・監督を務めた作品のデザイン画、絵コンテ、設定資料など各種創作物を展示し、彼の作品世界をひもときます。さらに、富山の自然や環境を原点とする幼少期から現在にいたるまで、どのようなものにインスピレーションを受けて創作活動をつづけてきたのか、そのルーツをたどるとともに、「いのちを育む」をテーマとする2025年大阪・関西万博のパビリオンを紹介します。

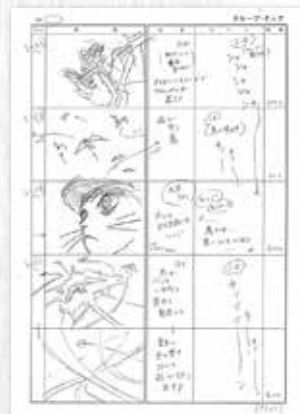
メインコーナー

音楽とアニメーションの融合、独創的な演出、そして変形メカデザインなど多角的な魅力を持つ河森正治作品。代表的な監督・原作を中心に、企画案や絵コンテ、デザイン画を展示。



《「マクロス」シリーズ》
「超時空要塞マクロス」
「超時空要塞マクロス 愛・おぼえていますか」
「マクロスプラス」
「マクロス7」
「マクロスF」
「マクロスΔ」 etc...

《「アクエリオン」シリーズ》
「創聖のアクエリオン」
「アクエリオンEVOL」
「想星のアクエリオン Myth of Emotions」 etc...



オリジナル監督作品
「イーハトーブ幻想～KENJIの春」
「地球少女アルジュナ」

インスピレーションコーナー

富山を原点として、横浜で才能を磨いた河森正治。
旅や記録のなかから、創作のルーツを探る。

EXPO2025大阪・関西万博
シグネチャーパビリオン
「いのちめぐる冒険」
THEME SYMBOL いのち環



©2024 Shoji Kawamori / Vector Vision

EXPO2025大阪・関西万博
シグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」



©2024 Shoji Kawamori / Office Shogo Onodera. All rights reserved.

プロジェクトコーナー

開幕中のEXPO 2025 大阪・関西万博において、河森正治が手掛けたテーマパビリオンの関連資料やイメージスケッチを展示。パビリオンも河森正治が送り出す「作品のひとつ」として捉え、その魅力に迫る。



河森正治プロフィール

3歳で越中五箇山から横浜へ転居。発展が目覚ましい都会の地でカルチャーショックを受けたことが、クリエイティブな仕事に就くきっかけとなる。慶應義塾大学工学部在学中に、クリエイティブ企画制作集団「スタジオぬえ」に入社。入社まもなく、タカラ(現・タカラトミー)へ出向。「トランスフォーマー」の「オプティマスプライム(コンボイ)」の初期デザイン、「ダイアクロン」のカーロボットなどを担当するデザインチームに参加し、変形メカデザインを共同で手掛ける。その後、「超時空要塞マクロス」(1982～83年)にメイン・メンバーとして携わり、主役メカの完全3段変形可変戦闘機VF-1バナルキリーをデザイン。劇場版作品「超時空要塞マクロス 愛・おぼえていますか」(84年)で監督デビュー。リアル感のあるメカと戦闘シーン、アイドル音楽・恋愛要素の入り混じった映像は、後年のアニメーションに多大な影響を与えた。その後の「マクロス」シリーズをはじめ、原作、監督、メカデザインや多様な企画、プロダクトデザインを手掛け、幅広い創作活動を行う。

6/21(土)

オープニング記念トークイベント

出演/河森正治 監督

聞き手/河合宏之氏(アニメーション文芸、フリーライター)

時間/10:30～12:00(開場は10:00)

会場/当館 ライブラリーコーナー

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員150名

7/21(月・祝)・8/10(日)

上映会「イーハトーブ幻想～KENJIの春」(1996年/58分)

時間/各回14:30～15:30

会場/当館 研修室101

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員100名

7/13(日)

シンポジウム「富山で万博会議「いのちめぐる冒険」を考える！」

シンポジスト/志内利明氏(富山県中央植物園、植物分類学)

白石俊明氏(立山カルデラ砂防博物館、動物生態学)

吉岡翼氏(富山科学博物館、地史・古生物学)

コーディネーター/生田美秋(高志の国文学館事業部長)

時間/14:00～15:30

会場/当館 研修室101

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員100名

7/21(月・祝)・8/10(日)・8/31(日)

担当学芸員によるギャラリートーク(展示解説)

時間/各回13:30～(30分程度)

会場/当館 企画展示室

◎申込不要 ◎要観覧券

関連イベント



【申込方法】

電話・WEB申込フォームにて、イベント名(複数可)と

氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=ujaVvnVY>

高志の国 文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490
<https://www.koshibun.jp/>

